

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公開番号】特開2008-94095(P2008-94095A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-260469(P2007-260469)

【国際特許分類】

B 41 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 102Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月9日(2011.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

相変化インクプリンタに使用するためのインクスティックにおいて、

外面を有する固体インク本体と、

前記インクスティックの本体の前記外面の少なくとも一部分の上に横たわるオーバーコートであって、少なくとも1つの固体インク組成物材料と、第1波長で放射を吸収し前記第1波長とは異なる第2波長で放射を放出する少なくとも1つの染料とを備える、前記オーバーコートと、

を備えたインクスティック。

【請求項2】

前記オーバーコートは、更に、金属を備える請求項1に記載のインクスティック。

【請求項3】

前記オーバーコートは、前記インクスティックの前記外面に所定のパターンで配置され、前記所定のパターンにより、前記オーバーコートの前記染料によって放出された放射は、前記インクスティックに対する識別情報を提供することができる、請求項1に記載のインクスティック。

【請求項4】

前記所定のパターンは、前記固体インクスティックの前記外面に構成された均一間隔のパターンであって、前記固体インクスティックの消費量を検出することを可能にする、請求項3に記載のインクスティック。

【請求項5】

相変化インク像形成装置のインクローダーでインクスティックを供給するための方法において、

相変化インク像形成装置のインクローダーにインクスティックを挿入するステップであって、前記インクスティックは、外面と、前記インクスティックの本体の前記外面の少なくとも一部分の上に横たわるオーバーコートとを含み、前記オーバーコートは、少なくとも1つの固体インク組成物材料と、第1波長で放射を吸収し前記第1波長とは異なる第2波長で放射を放出する少なくとも1つの染料とを備える、前記ステップと、

前記オーバーコートに第1波長で放射を向けるステップと、

前記オーバーコートから放出された第2波長の放射を検出するステップと、

を備えた方法。

【請求項 6】

前記第2波長の放射をメモリに記憶された情報に関連してデコードして、前記インクスティックに関する情報を識別することを更に備える請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

相変化インク像形成装置のためのフィードシステムにおいて、
固体インクスティックを受け入れるインクローダーであって、前記固体インクスティックは、少なくとも1つの固体インク組成物材料と、第1波長で放射を吸収し前記第1波長とは異なる第2波長で放射を放出する少なくとも1つの染料と、を備えるコーティングを有し、前記コーティングは、前記固体インクスティックの本体の外面の少なくとも一部分の上に横たわっている、前記インクローダーと、

前記インクローダー内にあり、前記インクローダー内のインクスティックの前記コーティングへ第1波長で放射を放出するための放射器と、

前記コーティングによって吸収された前記第1波長の放射に応答して前記コーティングから放出される第2波長の放射を検出するための検出器と、

前記検出された第2波長の放射に基づき前記インクスティックに関する情報を識別するよう構成されたコントローラと、

を備えたフィードシステム。

【請求項 8】

前記コントローラは、前記インクローダー内のインクスティックの消費量を、前記インクローダーにおける前記インクスティックの前記外面の前記コーティングの均一間隔のパターンによって放出される前記第2の波長の放射から識別するように構成されている、請求項7に記載のフィードシステム。